

## (4) 財政局

(一般会計)

(単位：千円)

<b>事務事業名 予算編成及び執行管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>26,836</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/7目 財政管理費	要求	27,464
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 予算編成にかかる各種調製作業及び執行管理における事務を行うとともに、市議会における予算案の審議において必要となる予算書及び予算案の概要を作成します。併せて、積極的な行政情報の「見える化」を推進します。 また、さいたま市『ふるさと応援』寄附の寄附者へ贈呈するお礼の品の拡充やPRの強化を図り、寄附受入の拡大を目指します。		財政局長	26,836
		市長	26,836
		査定区分	B
		前年度予算額	28,841
		増減	△ 2,005
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 工事等契約関係及び業者登録管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>27,477</b>
局/部/課	財政局/契約管理部/契約課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/7目 財政管理費	要求	31,518
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 建設工事等について、業者選定、入札及び契約事務を行うとともに、入札制度に係る調査、研究等を行います。 また、本市との契約を希望する業者を対象に入札参加資格の申請受付・審査を行い、資格を有する者を登録名簿に登録し、適正かつ公正な契約事務の遂行を図ります。		財政局長	27,477
		市長	27,477
		査定区分	B
		前年度予算額	30,886
		増減	△ 3,409
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。 また、臨時職員賃金の改定を踏まえ、所要額を計上しました。		
<b>事務事業名 物品購入事務事業</b>		<b>予算額</b>	<b>284</b>
局/部/課	財政局/契約管理部/調達課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/7目 財政管理費	要求	284
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 物品購入等について、各所管からの依頼に基づき、業者選定、入札及び契約事務を行います。		財政局長	284
		市長	284
		査定区分	A
		前年度予算額	328
		増減	△ 44
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 委託契約事務事業</b>		<b>予算額</b>	<b>460</b>
局/部/課	財政局/契約管理部/調達課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/7目 財政管理費	要求	460
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 委託契約事務の一層の公正性・透明性を確保するとともに、適正な執行を図るため、各所管に対し支援を行います。		財政局長	460
		市長	460
		査定区分	A
		前年度予算額	460
		増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

<b>事務事業名 工事検査事業</b>		<b>予算額</b>	<b>2,862</b>
局/部/課	財政局/契約管理部/工事検査課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/7目 財政管理費	要求	2,862
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 公共施設の品質向上を図るため、工事請負費にて発注された工事を対象に、地方自治法第234条の2（契約の履行の確保）に基づく検査業務を厳正かつ公平に行います。		財政局長 市長	2,862 2,862
		査定区分	A
		前年度予算額	2,868
		増減	△ 6
		<b>査定の考え方</b>	所管局の要求どおり計上しました。
<b>事務事業名 公有財産管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>127,596</b>
局/部/課	財政局/財政部/資産活用課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/8目 財産管理費	要求	135,270
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 公有財産の取得・管理・処分を適正に行い、効果的な財産の運用を図ります。		財政局長 市長	132,867 132,867
		査定区分	B
		前年度予算額	140,686
		増減	△ 13,090
		<b>査定の考え方</b>	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。
<b>事務事業名 財産評価委員会運営事業</b>		<b>予算額</b>	<b>625</b>
局/部/課	財政局/財政部/資産活用課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/8目 財産管理費	要求	625
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 不動産の取得又は処分に関する価格の適正を期するため、財産評価委員会を設置し適正な執行を図るものです。		財政局長 市長	625 625
		査定区分	A
		前年度予算額	625
		増減	0
		<b>査定の考え方</b>	所管局の要求どおり計上しました。
<b>事務事業名 庁舎管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>650,735</b>
局/部/課	財政局/財政部/庁舎管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/8目 財産管理費	要求	701,484
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 本庁舎を安全で効率のよい施設として維持するため、適正な管理運営を行います。 また、耐震補強工事に伴い、必要な庁舎整備を行います。		財政局長 市長	650,735 650,735
		査定区分	B
		前年度予算額	681,525
		増減	△ 30,790
		<b>査定の考え方</b>	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

<b>事務事業名 庁用自動車等管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>116,155</b>
局/部/課	財政局/財政部/庁舎管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/8目 財産管理費	予算書P. 85	要求 116,345
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 本庁舎及び区役所の車両管理業務と自動車保険手続きを行います。		財政局長	116,155
		市長	116,155
		査定区分	B
		前年度予算額	124,071
		増減	△ 7,916
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 本庁舎耐震補強事業</b>		<b>予算額</b>	<b>1,419,696</b>
局/部/課	財政局/財政部/庁舎管理課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/8目 財産管理費	予算書P. 85	要求 1,419,696
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 本庁舎の高層棟及び低層棟について、大規模地震の発生も懸念されているなか、被災時において防災中枢拠点施設としての機能を維持するため、また、来庁市民及び職員の安全確保を図るため、耐震補強工事を行います。		財政局長	1,419,696
		市長	1,419,696
		査定区分	A
		前年度予算額	2,307,681
		増減	△ 887,985
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 財政調整基金積立金</b>		<b>予算額</b>	<b>17,278</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/17目 財政調整基金費	予算書P. 93	要求 17,278
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 年度間の財源調整等のために積み立てている財政調整基金に対し、積立てを行います。		財政局長	17,278
		市長	17,278
		査定区分	A
		前年度予算額	342,362
		増減	△ 325,084
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 減債基金積立金</b>		<b>予算額</b>	<b>6,181</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/18目 減債基金費	予算書P. 93	要求 6,181
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる財政の健全な運営を行うための基金に対して、積立てを行います。		財政局長	6,181
		市長	6,181
		査定区分	A
		前年度予算額	12,358
		増減	△ 6,177
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

<b>事務事業名 固定資産評価審査委員会事業</b>		<b>予算額</b>	<b>1,465</b>
局/部/課	財政局/税務部/税制課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/1目 税務総務費	要求	1,465
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 固定資産税・都市計画税において、固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者からの審査申出に対し、固定資産評価審査委員会を開催して申出内容を審査し決定します。		予算書P. 95	
		要求	1,465
		財政局長	1,465
		市長	1,465
		査定区分	A
		前年度予算額	1,048
		増減	417
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 税務管理事業</b>		<b>予算額</b>	<b>34,535</b>
局/部/課	財政局/税務部/税制課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	要求	34,658
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 課税事務を円滑に進める上での総合調整、税の啓発や研修等を行います。		予算書P. 97	
		要求	34,535
		財政局長	34,535
		市長	34,535
		査定区分	B
		前年度予算額	33,391
		増減	1,144
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 個人市民税賦課事業</b>		<b>予算額</b>	<b>313,223</b>
局/部/課	財政局/税務部/市民税課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	要求	360,145
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 賦課期日（1月1日）現在における市内に住所を有する個人及び市内に住所を有しないが、事務所・事業所又は家屋敷を有する個人から提出された申告書等の課税資料の内容を精査し、適正な課税を行います。		予算書P. 97	
		要求	329,867
		財政局長	329,867
		市長	329,867
		査定区分	B
		前年度予算額	288,771
		増減	24,452
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。 また、臨時職員賃金の改定を踏まえ、所要額を計上しました。		
<b>事務事業名 法人市民税賦課事業</b>		<b>予算額</b>	<b>33,539</b>
局/部/課	財政局/税務部/市民税課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	要求	33,783
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市内に事業所等を有する法人から提出された申告書等の賦課資料の内容を精査し、適正な課税を行います。		予算書P. 97	
		要求	33,539
		財政局長	33,539
		市長	33,539
		査定区分	B
		前年度予算額	18,069
		増減	15,470
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 軽自動車税賦課事業		予算額	37,043
局/部/課	財政局/税務部/市民税課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	予算書P. 97	要求 40,956
<事業の目的・内容> 賦課期日(4月1日)現在における市内に定置場のある軽自動車等の所有者から提出された申告書等の課税資料の内容を精査し、適正な課税を行います。			財政局長 37,043
			市長 37,043
		査定区分	B
		前年度予算額	25,461
		増減	11,582
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
事務事業名 その他市税賦課事業		予算額	3,610
局/部/課	財政局/税務部/市民税課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	予算書P. 97	要求 7,233
<事業の目的・内容> 市たばこ税、入湯税及び事業所税の納税義務者等から提出された申告書等の課税資料の内容を精査し、適正な課税を行います。			財政局長 3,610
			市長 3,610
		査定区分	D
		前年度予算額	4,776
		増減	△ 1,166
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。		
事務事業名 固定資産税及び都市計画税賦課事業		予算額	201,824
局/部/課	財政局/税務部/固定資産税課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	予算書P. 97	要求 202,011
<事業の目的・内容> 賦課期日(1月1日)現在において、市内に存在する固定資産税及び都市計画税の課税客体である土地・家屋・償却資産の利用状況を正確に把握のうえ、評価の内容を精査し、適正な課税を行います。			財政局長 201,824
			市長 201,824
		査定区分	B
		前年度予算額	187,700
		増減	14,124
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。 また、臨時職員賃金の改定を踏まえ、所要額を計上しました。		
事務事業名 収納対策事業		予算額	87,965
局/部/課	財政局/債権整理推進部/収納対策課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	予算書P. 97	要求 87,965
<事業の目的・内容> 市税及び国民健康保険税の収納率の向上と収入未済額の圧縮を図るため、収納対策を推進します。また、「さいたま市債権回収対策基本計画」に掲げる対象債権のうち、入学準備金・奨学金貸付金の高額困難事案等を引き継ぎ、滞納整理を行うとともに、債権所管課の徴収技術の向上を図るための支援を行います。			財政局長 87,965
			市長 87,965
		査定区分	A
		前年度予算額	91,043
		増減	△ 3,078
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

<b>事務事業名 市税還付金及び還付加算金</b>		<b>予算額</b>	<b>840,000</b>
局/部/課	財政局/債権整理推進部/収納調査課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	要求	930,000
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市税等の収納管理を適正に行うため、過誤納金、課税の更正・取消等により生じる還付金及び還付加算金を還付又は充当します。		財政局長	840,000
		市長	840,000
		査定区分	B
		前年度予算額	800,000
		増減	40,000
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 収納調査事業</b>		<b>予算額</b>	<b>239,231</b>
局/部/課	財政局/債権整理推進部/収納調査課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	要求	218,896
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市税等の収納管理及び滞納整理を円滑に行うため、口座振替の管理、滞納者に係る督促及び催告並びに調査を行います。		財政局長	211,467
		市長	211,467
		査定区分	B
		前年度予算額	147,441
		増減	91,790
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 債権回収事業</b>		<b>予算額</b>	<b>7,397</b>
局/部/課	財政局/債権整理推進部/債権回収課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	2款 総務費/3項 徴税费/2目 賦課徴収費	要求	7,397
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 納税相談、財産調査資料等により、生活状況や納税資力の把握に努め、差押えや滞納処分の執行停止等を実施し、早期完結を図ります。		財政局長	7,397
		市長	7,397
		査定区分	A
		前年度予算額	7,430
		増減	△ 33
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 公債管理特別会計繰出金</b>		<b>予算額</b>	<b>48,122,401</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	12款 公債費/1項 公債費/1目 元金	要求	48,122,401
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 普通建設事業等の世代間負担の公平を確保するため、借り入れた市債の元金償還及び市場公募地方債の満期一括償還に要する経費について、公債管理特別会計に対して繰出しを行います。		財政局長	48,122,401
		市長	48,122,401
		査定区分	A
		前年度予算額	46,896,908
		増減	1,225,493
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

<b>事務事業名 一時借入金利子</b>		<b>予算額</b>	<b>86,617</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	12款 公債費/1項 公債費/2目 利子	予算書P. 195	要求 108,272
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 金融機関等から借り入れた一時借入金の利子の支払を行います。		財政局長	86,617
		市長	86,617
		査定区分	C
		前年度予算額	69,575
		増減	17,042
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 公債管理特別会計繰出金</b>		<b>予算額</b>	<b>3,146,390</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	12款 公債費/1項 公債費/2目 利子	予算書P. 195	要求 3,770,335
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 普通建設事業等の世代間負担の公平を確保するため、借り入れた市債の利子の支払に要する経費について、公債管理特別会計に対して繰出しを行います。		財政局長	3,146,390
		市長	3,146,390
		査定区分	B
		前年度予算額	3,355,650
		増減	△ 209,260
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		
<b>事務事業名 市債借入事務事業</b>		<b>予算額</b>	<b>586</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	12款 公債費/1項 公債費/3目 公債諸費	予算書P. 195	要求 586
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 普通建設事業等の世代間負担の公平を確保するため、地方財政法による総務省との協議、届出により市債の借入れを行います。		財政局長	586
		市長	586
		査定区分	A
		前年度予算額	459
		増減	127
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
<b>事務事業名 公債管理特別会計繰出金</b>		<b>予算額</b>	<b>79,835</b>
局/部/課	財政局/財政部/財政課	〔要求と査定経過〕	
款/項/目	12款 公債費/1項 公債費/3目 公債諸費	予算書P. 195	要求 79,835
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 市場公募地方債の発行等に要する諸経費について、公債管理特別会計に対して繰出しを行います。		財政局長	79,835
		市長	79,835
		査定区分	A
		前年度予算額	93,958
		増減	△ 14,123
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(特別会計)

(単位：千円)

会計名 用地先行取得事業特別会計		予算額	62,000
局/部/課	環境局/施設部/環境施設管理課	〔要求と査定経過〕	
局/部/課	環境局/施設部/環境施設整備課	要求	61,085
局/部/課	都市局/都市計画部/都市公園課	予算書P. 405	財政局長 62,000
<事業の目的・内容> 公用若しくは公共用に供する土地、又は公共の利益のために取得する必要がある土地について、あらかじめ用地を取得し事業の円滑な運営とその経理の適正を図ります。		市長 62,000	
		査定区分	A
		前年度予算額	3,091,000
		増減	△ 3,029,000
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。		
会計名 公債管理特別会計		予算額	85,224,000
局/部/課	財政局/財政部/財政課	予算書P. 591	〔要求と査定経過〕
<事業の目的・内容> 一般会計、特別会計及び企業会計において借り入れた市債の元利償還を一括して行います。また、借換債の発行、減債基金への積立て、当該積立金に係る運用益の経理の明確化など、市債管理事務を適切に行います。		要求	85,804,091
		財政局長	85,224,000
		市長	85,224,000
		査定区分	B
		前年度予算額	86,107,000
	増減	△ 883,000	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。		

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。